

## 「男女がともに暮らしやすいまちづくり」を進めるための 市民アンケート調査

### 記入にあたってのお願い

- 1 調査票のご記入は、封筒宛名のご本人がお答えください。
- 2 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 3 「その他」を選ばれた場合は、( ) 内に簡潔に具体的内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**6月20日（木）**までに郵便ポストにご投函ください。

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

- |      |      |
|------|------|
| 1 女性 | 2 男性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢（平成25年5月1日現在）をお答えください。（○は1つ）

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満  | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70歳以上  |          |

問3 あなたの主なお仕事は何ですか。（○は1つ）

- |                       |                                    |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1 自営業（家族従事者を含む）       | 2 役員（会社・団体等）                       |
| 3 常用雇用者 <sup>※1</sup> | 4 臨時雇用者 <sup>※2</sup> （パート、アルバイト等） |
| 5 家事専業（主婦、主夫）         | 6 無職                               |
| 7 学生                  | 8 その他（ ）                           |

※1 期間を定めずに、又は1年を超える期間を定めて雇われている人

※2 日々又は1年以内の期間を定めて雇われている人

問4 現在、一緒に暮らしているご家族の世代構成はどのようになっていますか。  
(○は1つ)

1 1人暮らし(単身世帯)	2 夫婦のみ(1世代世帯)
3 親と子の世帯(2世代世帯)	4 祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)
5 その他の世帯( )	

問5 あなたを含め、一緒に暮らしているご家族に次の方はいますか。  
(○はいくつでも)

1 乳幼児	2 小学生	3 中学生
4 高校生	5 大学生	6 専門学校生
7 65歳以上の高齢者	8 該当者はいない	

問6 あなたは結婚(事実婚を含む)していらっしゃいますか。(○は1つ)

1 未婚	2 既婚(配偶者あり)	3 離別・死別
------	-------------	---------



次の質問にお答えください。

共働き(内職含む)ですか。(○は1つ)

1 共働きである	2 共働きではない
----------	-----------

問7 あなたは、次にあげる言葉や法律等について知っていますか(または、利用したことがありますか)。(1)から(6)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

質 問	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	言葉も意味も知らない
(1)男女共同参画社会	1	2	3
(2)男女雇用機会均等法	1	2	3
(3)育児・介護休業法	1	2	3
(4)ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
(5)配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)	1	2	3
(6)酒田市男女共同参画推進センター「ウイズ」	1 (利用した、または講座に参加したことがある)	2 (知っているが、利用したことはない)	3 (施設があることを知らない)

問8 あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(7)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

質 問	女性が 優遇され ている	どちらか といえば 女性が 優遇され ている	平等 である	どちらか といえば 男性が 優遇され ている	男性が 優遇され ている	わから ない
(1)家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2)職場(就職の機会 を含む)	1	2	3	4	5	6
(3)学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(4)政治の場	1	2	3	4	5	6
(5)社会活動の場(P T Aや地域活動など)	1	2	3	4	5	6
(6)法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
(7)社会通念、慣習、 しきたりなど	1	2	3	4	5	6

問9 あなたは、以下についてどのくらいの時間を費やしていますか。最も近い番号を1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

(1)【平日】家事(買い物を含む)や子育て、介護等

1 していない(0時間)	2 1時間以内	3 1時間～2時間未満
4 2～3時間未満	5 3～4時間未満	6 4～5時間未満
7 5時間以上		

(2)【休日】家事(買い物を含む)や子育て、介護等

1 していない(0時間)	2 1時間以内	3 1時間～2時間未満
4 2～3時間未満	5 3～4時間未満	6 4～5時間未満
7 5時間以上		

(3)仕事(通勤を含む)

1 していない(0時間)	2 2時間以内	3 2時間～4時間未満
4 4～6時間未満	5 6～8時間未満	6 8～10時間未満
7 10時間～12時間未満	8 12時間以上	

問 10 あなたは、以下の地域活動について参加したことがありますか。参加状況に近いものを1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

質 問	参加している (参加した)、 今後も参加し たい	参加している (参加した)、 今後は参加し たくない	参加したこ とがない、今後 は参加したい	参加したこ とがない、今後 も参加しない
(1)自治会・町内 会の活動	1	2	3	4
(2)PTAや子ど も会の活動	1	2	3	4
(3)地域における 趣味・スポーツ・ 学習の活動	1	2	3	4
(4)NPO(非営利 団体)やボランテ ィアの活動	1	2	3	4

問 11 男性が女性とともに家庭生活(家事、子育て、介護)や地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)



- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 男性の家事・地域活動などへの参加に対する男性自身の抵抗感をなくす</li> <li>2 男性の家事・地域活動などへの参加に対する女性の抵抗感をなくす</li> <li>3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる</li> <li>4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重する</li> <li>5 社会の中で、男性による家事・地域活動等への参加に対する評価を高める</li> <li>6 労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること</li> <li>7 男性の家事・地域活動などに対する関心が高まるよう啓発や情報提供を行う</li> <li>8 研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める</li> <li>9 男性が家事・地域活動等を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる</li> <li>10 男性が、家庭や地域活動と仕事の両立などの問題を相談しやすい窓口を設ける</li> <li>11 その他 ( )</li> </ol> |
|---|

問 12 あなたは、次のような考え方などについて、どのように思いますか。

(1)から(2)のそれぞれについて1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

質 問	賛成	どちらか たとえば 賛成	どちらか たとえば 反対	反対	わから ない
(1)夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	1	2	3	4	5
(2)妻が外で働く場合は、夫は家事・育児等を分担すべき	1	2	3	4	5

問 13 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように考えますか。

(○は1つ)

1 結婚するまでは職業をもつ方がよい 2 子どもができるまでは職業をもつ方がよい 3 子どもができてみずっと職業をつづける方がよい 4 子どもができたら職業をやめ、大きくなったらフルタイムで職業をもつ方がよい 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったらパートタイムで職業をもつ方がよい 6 女性は職業をもたない方がよい 7 その他 ( ) 8 わからない
--

問 14 女性の就労に対する企業や行政による支援としては、どのようなことが必要だと思えますか。次の中から、3つまで選んでください。(○は3つまで)

1 女性就労についての啓発や広報 2 労働条件における男女平等の推進 3 募集・採用の男女平等の確立 4 女性の職種・職域拡大 5 パートタイム・派遣労働などの雇用の安定や労働条件の整備 6 就業のための技能習得への支援や就職情報提供の充実 7 再就職講座やセミナーなどの充実 8 女性の起業支援 9 労働時間の短縮 10 男女ともに取得しやすい育児・介護休業制度の啓発・促進 11 保育・介護のための施設やサービスの充実 12 労働問題や苦情処理窓口の充実 13 その他 ( )
--

問 15 男女平等の視点で学校教育を進めるうえで、取り入れてほしいことや力をいれてほしいと思うことを3つまで選んでください。(○は3つまで)

- |    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 1  | 性別にとらわれず、本人の個性や能力を生かす教育を充実する     |
| 2  | 名簿や座席など、学校生活において男女を分ける習慣を改める     |
| 3  | 日常の学校生活のなかで、男女平等意識を養うような教育を充実する  |
| 4  | 男女平等意識を育てるような授業内容の工夫をする          |
| 5  | 男女平等教育のための教材や副読本を取り入れる           |
| 6  | 教職員に対し、男女平等の意識啓発、研修などを行う         |
| 7  | 男女ともに暮らしと仕事のバランスを考えられるような教育を充実する |
| 8  | 男女ともに性別による役割分担意識を改善する教育を充実する     |
| 9  | 男女の違いを認め、豊かな人間関係づくりに関する性の教育を充実する |
| 10 | その他 ( )                          |

問 16 最近、夫婦や恋人の一方が、他方から身体的・精神的な暴力を受けることが社会問題となっています。

あなたは、このDV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉や内容を知っていますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 言葉や内容も知っている         |
| 2 | 言葉は知っているが、内容はよく知らない |
| 3 | 言葉やその内容も知らない        |

**(問 17～19 はお答えしにくい場合は、回答いただくなくても構いません)**

問 17 あなたは、次のようなことを受けて、見聞きしたことがありますか。

次の(1)から(3)のそれぞれについて1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

質 問	自分が受けた	身近で見聞きした	マスコミ等で聞いたことはある	知らない
(1) セクハラ (セクシュアル・ハラスメント)	1	2	3	4
(2) ストーカー行為	1	2	3	4
(3) DV (ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3	4

※用語等については、(別紙) 男女共同参画関係用語一覧をご覧ください。また、DV被害支援の窓口も記載しています。ご参考ください。

問 18 問 17 の (1) ~ (3) の中で 1 つでも「1 自分が受けた」と回答した方だけお答えください。

あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 1 相談した | 2 どこ(誰)にも相談しなかった |
|--------|------------------|

問 19 問 18 で「2 どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方だけお答えください。

どこ(誰)にも相談しなかった理由を、次の中からすべて選んでください。  
(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 どこ(誰)に相談していいのかわからなかったから   |
| 2 相談しても無駄だと思ったから            |
| 3 相談したことが分かると、仕返しを受けると思ったから |
| 4 自分さえ我慢すればいいと思ったから         |
| 5 世間体が悪いから                  |
| 6 自分にも悪いところがあるから            |
| 7 その他 ( )                   |

問 20 酒田市では男女共同参画社会の推進を目指して、各種事業(学習、相談、情報提供、交流)を実施していますが、次の中であなたが参加してみたい・興味をもたれる事業について選んでください。(○は4つまで)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 男女共同参画の普及啓発に関する講演会・講座 |
| 2 女性のチャレンジ(人材育成)に関する講座  |
| 3 ワーク・ライフ・バランスに関する講座    |
| 4 再就職支援に関する講座           |
| 5 育児支援に関する講座            |
| 6 心身の健康に関する講座           |
| 7 ドメスティック・バイオレンスに関する講座  |
| 8 男性セミナー                |
| 9 市民が企画する男女共同参画に関する講座   |
| 10 生き方などのカウンセリング相談      |
| 11 健康相談                 |
| 12 法律相談                 |
| 13 男女共同参画に関する図書・DVD等の貸出 |
| 14 活動グループ間のネットワークづくり    |
| 15 活動グループの機関紙・チラシの掲示    |
| 16 その他 ( )              |

問 21 あなたは、女性と男性が平等な立場で協力しあっていくために、酒田市として、どのようなことに力を入れると良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 女性問題に関する情報提供の充実                           |
| 2  | あらゆる分野への女性の積極的な参加の促進                      |
| 3  | 行政の政策決定などへの女性の参画、登用の促進                    |
| 4  | 男女双方に対しての意識啓発、学習機会の充実                     |
| 5  | 子どものときから、学校で平等意識を育てる教育の充実                 |
| 6  | 女性の職業教育、訓練の機会の充実                          |
| 7  | 就労機会や労働条件の男女格差を解消するための働きかけ                |
| 8  | 酒田市が男女共同参画推進のモデル事業所として行動                  |
| 9  | 育児・保育施設の充実                                |
| 10 | 子どもを産み育てやすい環境づくり（助成制度、産科医の充実等）の促進         |
| 11 | 介護施設の充実                                   |
| 12 | 各種相談事業の充実                                 |
| 13 | 配偶者等からの暴力被害者への支援、セクハラ防止対策の働きかけ            |
| 14 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 22 最後に男女共同参画に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。(記入欄が不足する場合は、余白又は別紙等にご記入ください。)

～ ご協力ありがとうございました ～

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**6月20日（木）**まで郵便ポストにご投函ください。